

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書

団体名	三田サポートわなり		
取組の名称	子どもカフェ		
実施場所	みた・まちもりカフェ		
対象地域	三田小学校エリア		
対象地域の特色・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・団地・マンションが多い。 ・貧困で食べられない子どもはあまりいない。しかし、共働きで、一人で土曜日のお昼ご飯を食べている小学生が少なからずいる。 		
取組の趣旨・目的	<p>三田小学校で、川崎市教育委員会受託「地域の寺子屋事業」を行う中で、孤食の子どもの存在が気になるようになった。普段から子どもと接している寺子屋先生や寺子屋コーディネーターが子ども食堂を行うことで、1人で来ても顔見知りがある。また友達を誘いあわせてきて、楽しい食事の時間を過ごしてほしい。寺子屋体験活動後、食事を作る時間がとりにくいご家庭の保護者とお子さんに、丁寧に手作りした食事を食べてほしい。</p>		
実施内容・実施スケジュール	<p>月に一度行う予定だったが、日時を変更したため場所の確保ができず7月から開始した。7月から2月まで、第3土曜日の昼ごはんの時間帯に実施。貧困対策ではないこともあり、食材の安全性にこだわり、とびきりおいしい食事を提供。</p> <p>3月はコロナウイルス感染防止のため中止。</p>		
参加者の年代	小学生と保護者	定員 (1回あたり)	30名

実施頻度	月一回	活動日数 (年間)	8日(都合により 4月,5月,6月,3 月は休み)
スタッフ体制	5~6人。 川崎市教育委員会受託「地域の寺子屋事業」みた・まちもり寺子屋のコーディネーター、寺子屋先生、民生委員・児童委員が参加。		
連携する団体・ 連携の手法	三田小学校図書室にチラシを配架。 民生委員・児童委員による個別の声掛け。 三田小学校で配布される寺子屋チラシによる呼びかけ。 三田サポートわなりが近隣に2000部配布している「みた・まちもりカフェ通信」で告知。 主催団体は子ども110番の活動もしている。		
取組実施により 見込まれた効果	土曜日のお昼に一人で食事をしている子どもが知り合いの大人や友人と栄養のある安心な食事を食べ、楽しい時間をすごしてほしい。 食事終了後は異年齢の子どもたち、寺子屋先生と過ごすことで視野を広げてほしい。 地域の大人たちが子供たちの成長を暖かく見守っていることを子どもたちに感じてほしい。		

